

Julia
Has
Two
Lovers

一本の電話から彼女の愛は始まった

ジュリアと2人の恋人

『君と結婚したい奴は大勢いるさ』
『でも、私を愛してくれる人は今まで現れなかった……』

SOUTH GATE
ENTERTAINMENT

ダフナ・カスナー/デビッド・ダコブニー/デビッド・チャールズ/ティム・レイ/クレア・バンクロフト
製作総指揮◆C.H.レーノフ&ランダル・タービス/製作◆バシャール・シビブ/監督◆バシャール・シビブ
脚本◆ダフナ・カスナー&バシャール・シビブ/撮影◆スティーブ・レイズ/音楽◆アル・サミュエルズ

1991年/アメリカ映画/カラー/ビスタサイズ/ULTRA-STEREO/86分/配給◆GAGA 株式会社ギャガ・コミュニケーションズ

© 1991 SOUTH GATE ENTERTAINMENT

解説

誰にとっても『愛』というものは、決して単純なものではない。

一本の電話をきっかけに、真実の愛を追求める女性の不透明な姿が浮き彫りにされていく。結婚を考える恋人との安定した同棲生活の中、新たなひとりの魅力的な男性が現れる。その時、女はどうするべきなのか？現在の安定した快適な生活を守るか？それとも、全てを捨て去り新しい恋に賭けるか…!!

この新しいロマンティック・コメディは、共に受賞経験のある監督バシャール・シビブと主演女優のダフナ・カスナーが協力した作品で、カスナーが書いたオリジナル・ストーリーを二人で共同脚本している。又、カスナー自身が主役のジュリア役を親近感のある魅力的な女性として演じきっている。デビッド・ダコブニー、デビッド・チャールズの個性的俳優がジュリアに恋する男達に扮し、おかしくドラマティック、それでいて観客に感動と現状に対する疑問を投げかける作品に仕上がっている。

シビブは本作品のテーマをこう語る。「全ての女性に対して、現状に落ち着いてしまう必要はなく、もっと選択する余地があることを知ってほしい。人生の中である時、誰かがあなたの前に現れるが、あなたの価値を認めないような人には決して恋をしてはいけない。」



愛に悩むすべての女性たちへ…

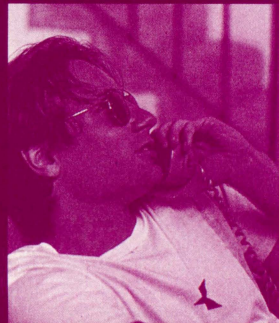
ストーリー

ジュリア（ダフナ・カスナー）とジャック（デビッド・チャールズ）は同棲生活を始めて2、3年になるカップル。ある日、ジャックがジュリアにプロポーズする。ジュリアはその時を待ちわびていたはずなのだが答えを出せない。二人の間に気まずい空気が流れ始める。

翌朝、ジャックはプロポーズの返事を聞いたがジュリアは躊躇している。そこに一本の電話がはいり、ジュリアが応対する間にジャックは出ていってしまう。電話の相手はダニエル（デビッド・ダコブニー）という男で意図的な間違い電話であった。見知らぬ二人の会話ははずみ、ジュリアはダニエルに興味をそそられ始める。お互いコードレス電話を使い、それぞれの用事をしながらお互いの性体験などを話し続ける。そこに、突然、ジャックが戻ってきて強引にジュリアにセックスを求め再び出て行ってしまう。電話を通して一部始終を聞いてしまったダニエルは傷ついて泣くジュリアを慰め、翌日彼女と合う約束をして電話を切る。

翌日、二人はジュリアの家で出会い甘い一時を過ごす。そして突然のダニエルからのプロポーズにジュリアのファンタジーは実現される。

しかしその翌日ビーチにいた妙な女からダニエルに関する嫌な話を聞き、それを確かめるべくダニエルの家に行くと、彼が電話で誰かに愛をささやくのが聞こえ、ジュリアは怒りに震えながらその場を去る。電話の相手は彼の母親だったのだが、その後、ジュリアはジャックのプロポーズを受けダニエルの電話を無視し続ける。思い詰めたダニエルは、ジュリアの家を訪れる。ジュリアをめぐって言い争う二人の男を残し、ジュリアは家を飛び出してしまうのだった…。



**Julia
Has
Two
Lovers**

スタッフ

製作総指揮.....C.H.レーノフ
ランダル・デービス
製作.....バシャール・シビブ
監督.....バシャール・シビブ
脚本.....ダフナ・カスナー
バシャール・シビブ
撮影.....スティーブン・レイズ
音楽.....アル・サミュエルズ

キャスト

ジュリア.....ダフナ・カスナー
ダニエル.....デビッド・ダコブニー
ジャック.....デビッド・チャールズ
レオ.....ティム・レイ
ジャッキー.....クレア・バンクロフト

9月26日より 月 日まで

株式会社ヒューマックスシネマ
銀座シネパトス 3
電話 (03) 561-4058